

投資INSIDE-OUT

<投資の裏側>

Vol. 2

投資の成功に有用なものとは？投資家の心理学～行動ファイナンス②～



「投資INSIDE-OUT」Vol.2では、Vol.1に引き続き、行動ファイナンスを取り上げます。「投資家は必ずしも合理的な判断をする訳ではない」との仮説を検証していきます。

(INSIDE-OUT=インサイドアウト、裏返す、隅から隅まで)

◆「お得だから買う」は本当にお得なのか？

急遽、海外出張が決まりスーツケースを買いに行きました。機内持ち込み用サイズを予算10,000円で買おうと決めてお店に行ったものの、種類が豊富で値段も5,000円から50,000円とかなり幅があります。どれにしようか迷っていると、店員さんが、①「予算10,000円なら、この**9,800円(定価)**の商品がお客様のニーズを十分満たしています」と話した後に、②「実は、本日の目玉商品は定価30,000円のところ**半額の15,000円**です」と言ってきました。あなたならどちらを選びますか？



予算は10,000円だけれど、たった5,000円多く出すだけで、30,000円のモノが買えるのだから②の方がお得だと思う人も多いと思います。

これは、行動ファイナンスで言うところの「参照点依存性」です。①は、定価9,800円と言われた瞬間に、その商品は9,800円という価値に固定されます。②は、定価30,000円という価値が固定されてから15,000円と言われると、とても得した気分になります。

賢く商品を選ぶには、自分が使用するにあたって、②が必要なのか、①で十分なのかを見極めることが重要になります。

投資においても同様のことが起こります。先週、株価が**1,000円**だった銘柄が**1,500円**になったら買うのを控えますし、先週**2,000円**だった銘柄が**1,500円**になれば買ってみようかと興味がわきます。ただ、これらは過去の株価の動きであり、重要なのは、これからどうなるかです。その時点における将来価値を見極めることが大切ということになります。

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。